



一般社団法人セーフインターネット協会
Safer Internet Association

ホットラインの活動について

設立趣旨

- 一般社団法人セーフインターネット協会（SIA）は、インターネットビジネスに携わる企業の有志によって、2013年に設立しました。
- SIAは、多くの人々がインターネットのもたらす恩恵を享受し、安心してインターネットを利用できる環境を実現するためには、インターネットのもたらす問題に対して民間主導で解決に取り組むことが不可欠だと考えます。
- こうした考えのもと、SIAでは、インターネットを悪用した犯罪や社会問題を、実効的に解決するための取り組みを展開しています。

会員構成

正会員 賛助会員 27社
協力企業 1社
(2025年3月1日現在)

■ 正会員

LINEヤフー



PTW

NEC

Orchestrating a brighter world

■ 賛助会員

MIXI



COXIO

mercari

DMM.com

GMOペパボ

Hatena

ASIRO

UUUM



COVER

BEENOS

GREE



Makuake

Studio Eurygraph

カッコイイ
株式会社

ケタ違い株式会社

Zeal
Communications

PLUM プラムシステムズ株式会社

SMILE-UP.

CADENZA

Reliefsign

NTT PC

■ 協力企業



- ホットライン事業
 - ・ 誹謗中傷ホットライン
 - ・ セーフライン
 - ・ 悪質ECサイトホットライン
- 偽情報対策
- イーコマース上で発生する問題への対策
- 教育事業（認定事業）

セーフラインについて

セーフラインの概要

- インターネット上の**違法・有害情報**について通報を受け付ける。
- 通報を受けた情報やパトロールで発見した情報をガイドラインに基づき、**国内外のサイト運営者等に削除を要請**。
- 特に深刻な被害をもたらす違法情報に対しては、通報受付だけでなく、自ら能動的に**パトロールを実施**し、問題情報の把握に努めている。
(児童ポルノ (CSAM)、リベンジポルノ、危険ドラッグ等)



セーフラインで取り扱う違法情報 - 抜粋 -

児童ポルノ



実在する児童（18歳未満の子供）の画像で、以下の様子が撮影されている場合

1. 児童がセックスやそれと同じようなことをしているもの
2. 児童が相手の性器を触ったり、相手から性器を触られたりしているもので、アダルト要素が強いもの
3. 児童の裸（一部が見えているものも含みます）の姿で、アダルト要素が強いもの

「リベンジポルノ」に該当する画像・動画



本人の意に反して、個人の裸の画像や動画が掲載されている場合

※アダルトビデオなどは対象としていません

(例)

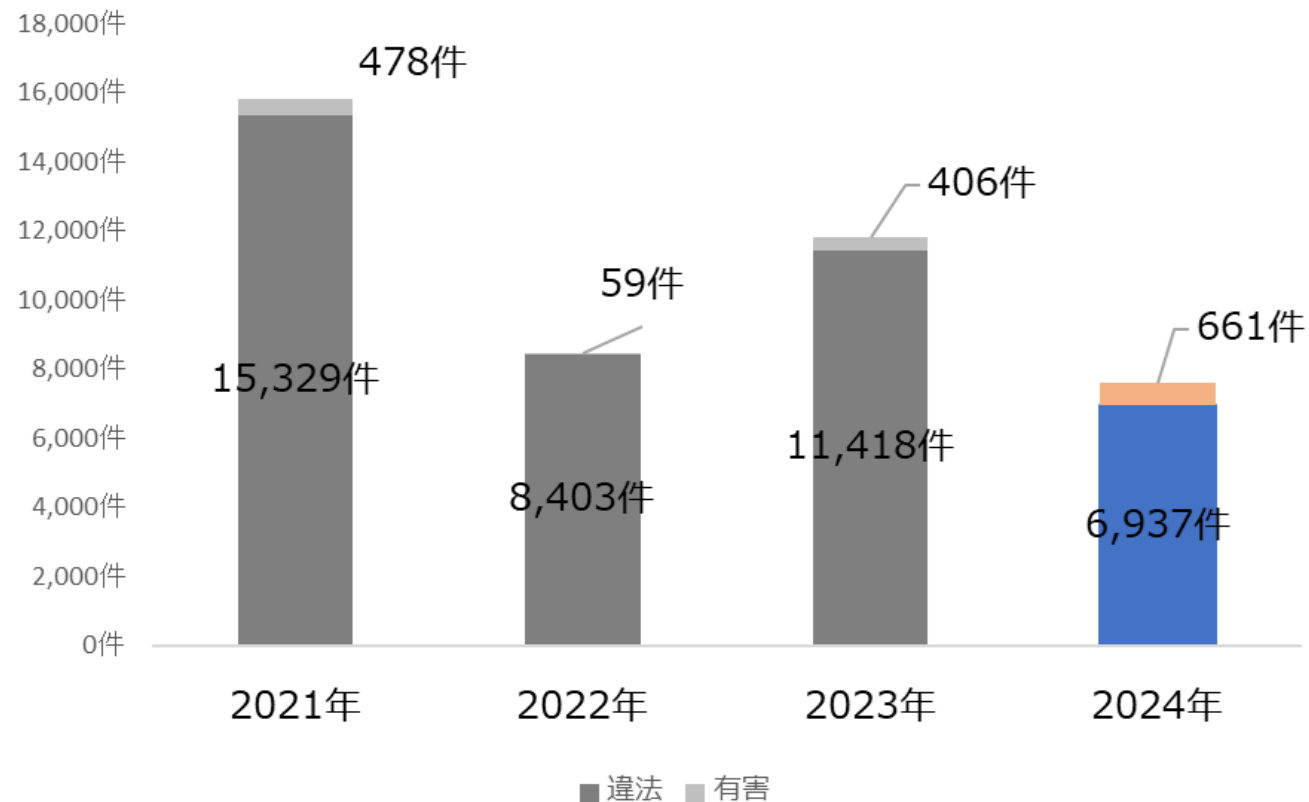
- セックスやそれと同じようなことをしているもの
- 相手の性器を触ったり、相手から性器を触らせたりしているもの
- 裸や下着姿で過激なポーズを取ったり取らせられたりしているもの

セーフライン 統計

期間：2024年1月1日～2024年12月31日

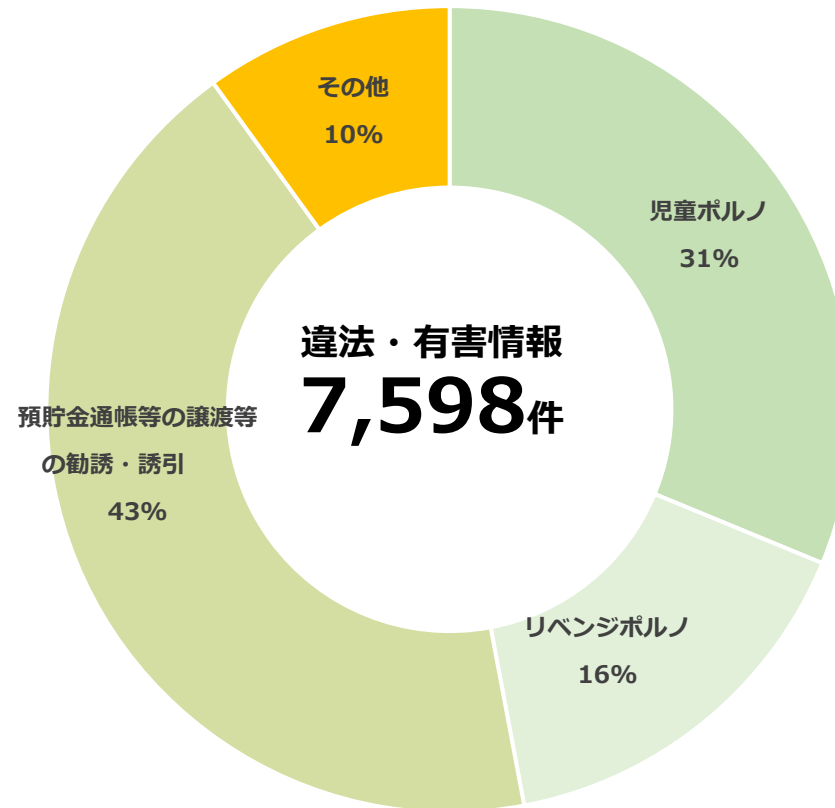
通報受領・パトロール件数内訳

- 通報受領・パトロールで把握した情報の総件数は約6.9万件。
前年度の約4.5万件から2.4万件の増加。
- そのうち、ガイドラインに基づいた違法または有害情報の該当数は**7,598件**。
前年度の約1.2万件から4,500件の減少



違法・有害情報 内訳

- 前年度6,821件で最も多かった児童ポルノは2,373件（31%）と減少。預貯金通帳等の譲渡等の勧誘・誘引が1,596件から3,266件に増加し最多となった。要因は同一通報者からの通報による。
- 前年度2番目に多いリベンジポルノは2,733件から1,201件に減少。



主要な違法・有害情報の掲載サイトの所在地

- 違法・有害情報の蔵置先をみると、国内サイトが4.9%、国外サイトが95.1%であり、95%以上の違法・有害情報が国外サイトに掲載されている。前年もほぼ同様の数値。
- サイトの所在地は、対象サイトのIPアドレスの登録情報に基づいて分類している。
(そのため、XやFacebookなどの海外事業者は国外サイトとして分類)



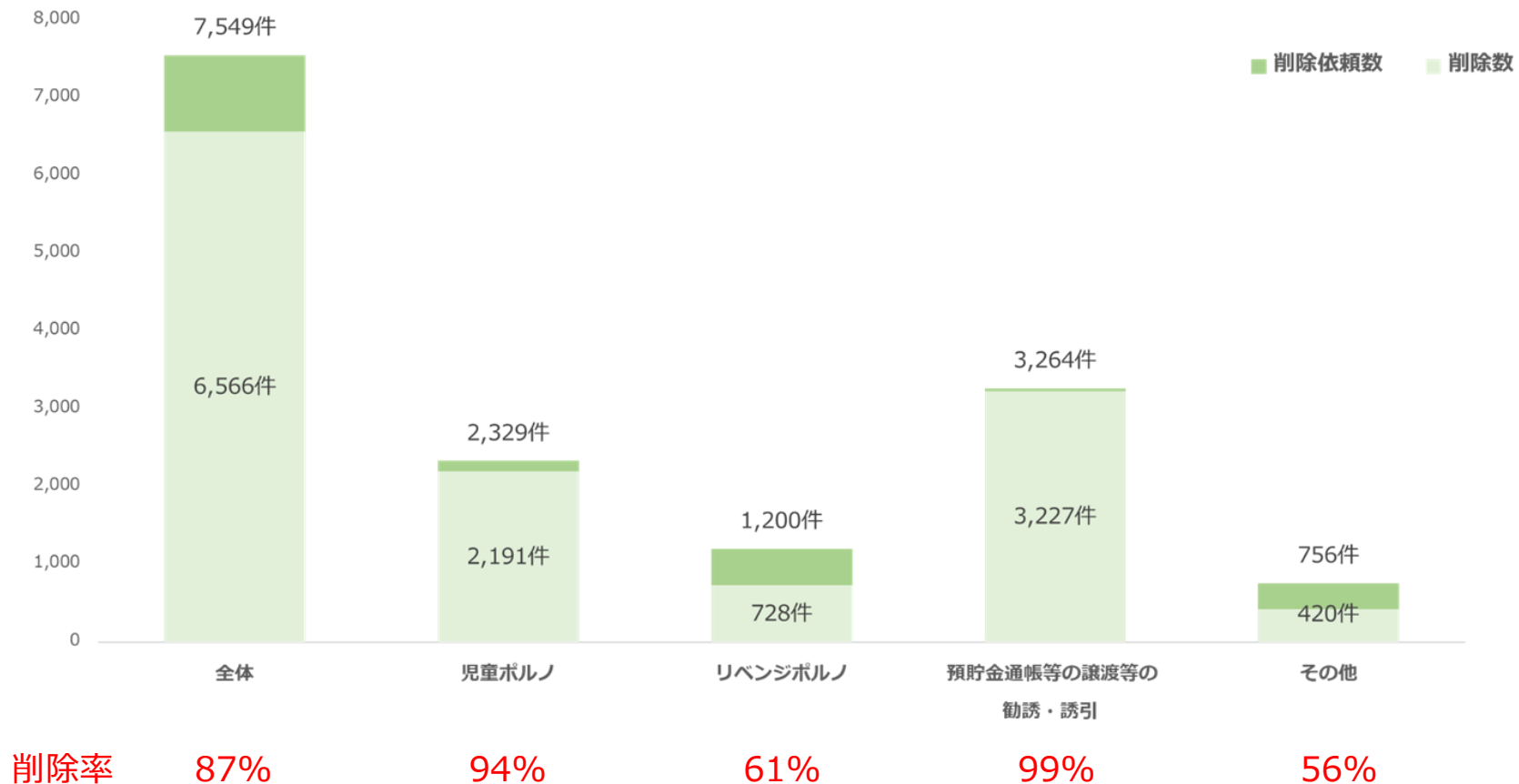
国内 4.9%



国外 95.1%

削除の状況 –主要分類別–

- 全体の削除率は87%。
- 「児童ポルノ」は94%、「リベンジポルノ」は61%と高い削除率を実現。
- 「預貯金通帳等の譲渡等の勧誘・誘引」は99%とほぼ削除に至る。



誹謗中傷ホットラインについて

誹謗中傷ホットライン

ネットの誹謗中傷

の被害にあわれたら

一人で悩まず
以下の対応を検討してみませんか？



投稿の削除

誹謗中傷ホットラインへの連絡



悩みの相談

相談機関のご紹介



警察への通報

最寄りの警察署

誹謗中傷ホットラインへの連絡



誹謗中傷ホットラインが国内外のプロバイダ等に利用規約に沿った削除等の対応を促す通知を行います。

誹謗中傷ホットラインに連絡する▶

※連絡を行う前に、「連絡にあたって」「FAQ」を一読ください

- 2020年6月29日より運用開始
- 被害者から、誹謗中傷情報が掲載されたサイト情報等の連絡を受け付け、内容を確認した後、コンテンツ提供事業者やプロバイダ等に、削除等の各社の利用規約に沿った対応を促す通知を行う。
- 立場の弱い私人や個人商店等を対象。
- 被害者が**児童/生徒**の場合には、**保護者**や**学校関係者**からの申告も受け付ける。
- 連絡用URL
<https://www.saferinternet.or.jp/bullying/>
(ヤフーで「誹謗中傷ホットライン」と検索)

誹謗中傷ホットラインで取り扱う情報

誹謗中傷ホットライン運用ガイドライン

- 個人が特定可能であること
- 公共性がないことが明らかである又は公益目的の表現でないことが明らかであること
- 次のいずれかに当たること
 - (i) 特定個人の社会的評価が低下させられるものであること
 - (ii) 社会生活上許される限度を超えた侮辱的表現を内容とすること

誹謗中傷ホットライン 統計

期間：2024年1月1日～2024年12月31日

連絡件数

■ 年間の連絡件数は2,985件。前年度（2,465件）から520件の増加。

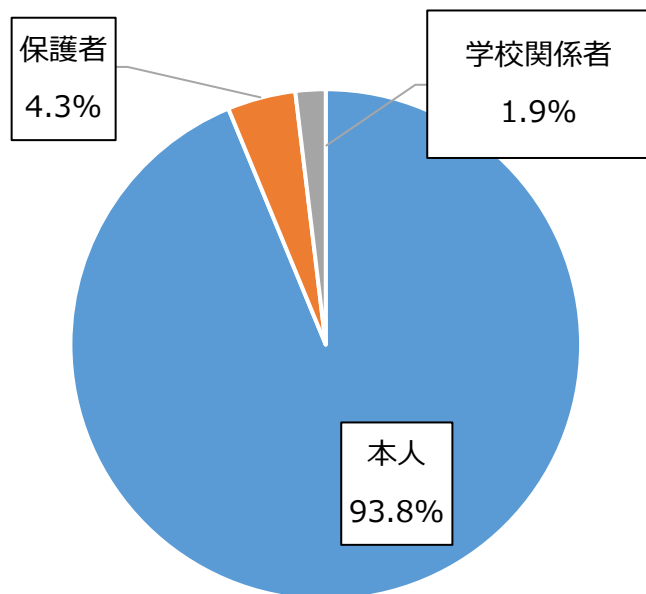
◆ 件数
2,985件

◆ 人数
1,922名

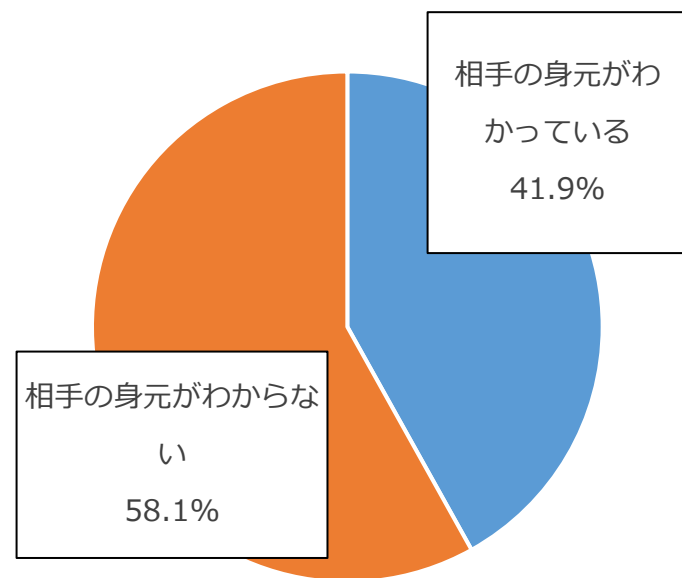
◆ 属性

本人	2,799件	(1,774名)
保護者	129件	(96名)
学校関係者	57件	(52名)

誹謗中傷を受けた本人と相談者の関係



書き込んだ相手を認識しているかどうか

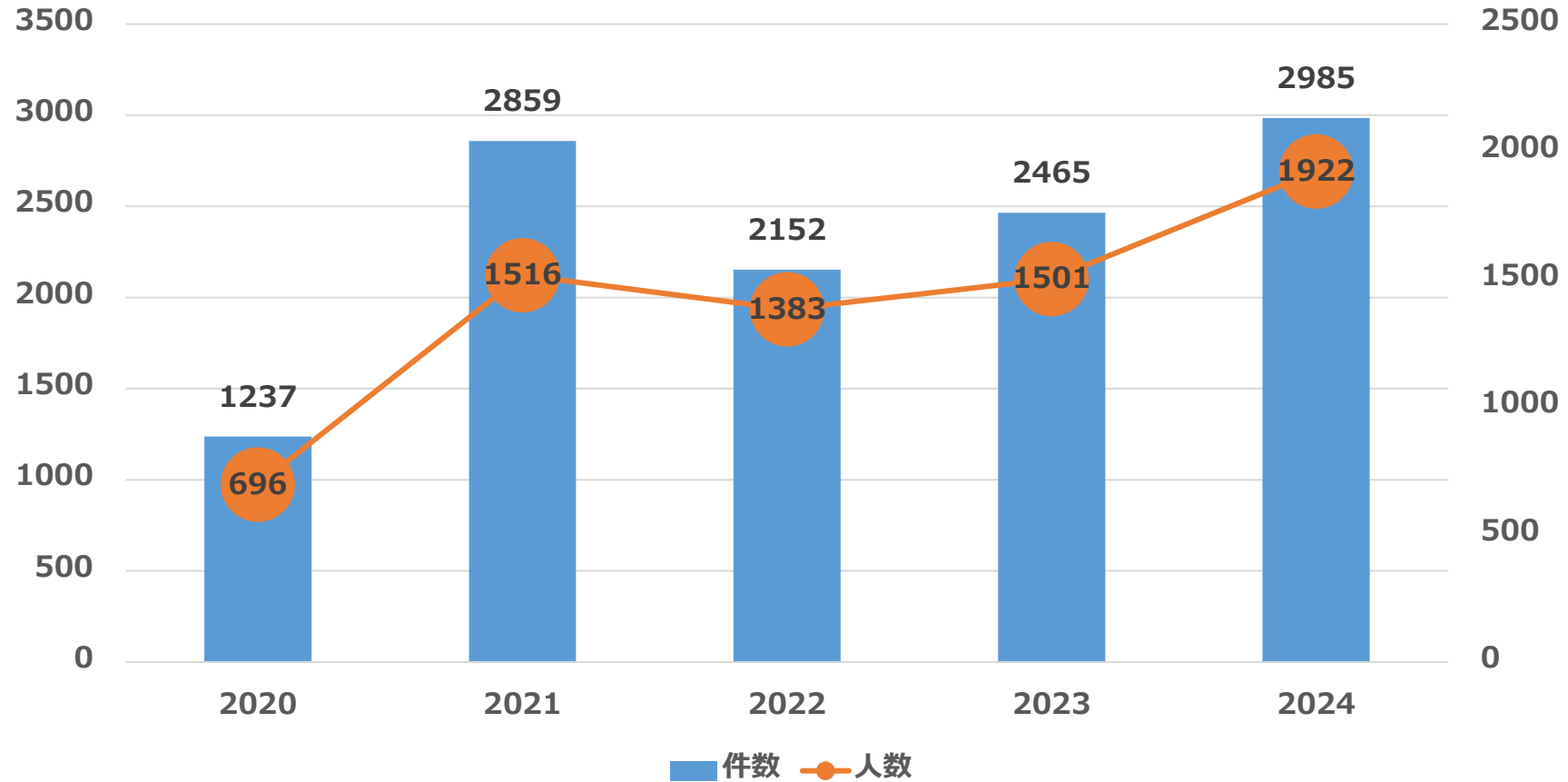


誹謗中傷情報該当数

- 誹謗中傷情報と判断した件数は851件。前年（636件）から215件の増加。
- 該当事例では、実生活もしくは氏名を公表したネット上での活動の、**個人対個人のトラブル**に起因し、**被害者の氏名や住所や顔写真**を晒した上で、人格や存在を否定する言葉で行われるケースが多数。
- 非該当事例は**実在の個人が特定できない**ケースが多数。

主な非該当理由（※複数該当を含む）		
実在の個人が特定できない （ハンドルネーム等で実在の個人が特定できない等）	746件	35%
公共公益目的でないことが明らかとはいえない	75件	3.5%
社会的評価が低下する内容や侮辱的な内容とはいえない	164件	7.7%
内容不明（連絡者指定の投稿を特定できない等）	387件	18.1%
その他 （被害者本人ではない、企業からの連絡、内容重複等）	762件	35.7%

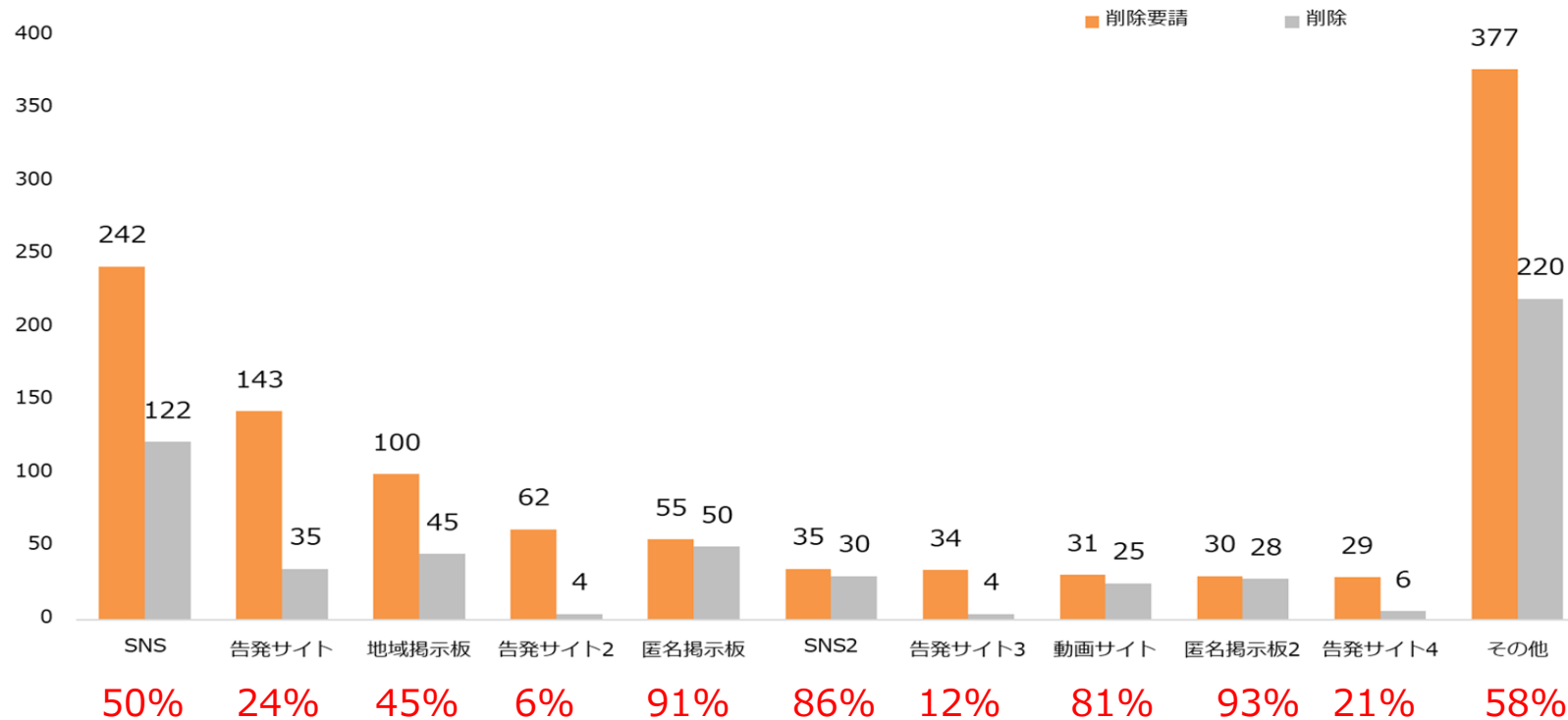
参考：連絡件数の推移



通知結果

- 851件（1,138URL）について削除を促す通知を行った結果、569URLが削除された（削除率：50%）。
- 通知を行ったサイトの属性では、SNSが30%と最も多く、次いで告発サイト（被害者から詐欺を受けたといった告発を行うサイト）が29%。

単位「URL」



- セーフライン
 - 新しい社会課題への対応（ガイドライン改定）

- 誹謗中傷ホットライン
 - 削除率の向上にむけたサイト運営者との協力関係の構築・強化
特に被害者本人からの書面通知を求められる場合があるが、被害者の負担が大きいため、負担の少ない被害回復方法の検討
 - 非該当となる事案の再検討（個人が特定できないハンドルネーム、IDなどへの対応）

ホットラインへのご連絡のお願い

- **リベンジポルノ**や**誹謗中傷の被害**に遭われた場合、**違法有害情報を発見**された際には、是非、ご連絡ください。

リベンジポルノ の被害にあわれたら

リベンジポルノ：本人の意思に反してネット上に私的な性的映像や動画を掲載すること
一人で悩まず以下の対応を検討してみませんか？



**リベンジポルノのご相談
(セーフライン特設サイト)**



ネットの誹謗中傷

の被害にあわれたら

一人で悩まず
以下の対応を検討してみませんか？



**誹謗中傷情報の申告
(誹謗中傷ホットライン)**



**違法有害情報の通報
(セーフライン)**

